

## **TOPICS**

災害状況確認と対策。

2018年の大雪におけるビニールハウスの被害状況の確認と、早急な対策を農林水産局長に求めました。(会派代表の玉野議員と/左写真)



## 皆様からのご意見、心よりお待ち致しております。

## info@kumanomorio.com

## くまのもりお事務所 TEL.076-256-3757 FAX.076-256-3836

〔大徳事務所〕金沢市寺中町ホ6〔みどり事務所〕金沢市みどり2-6-2

発行/金沢市議会議員 熊野盛夫 (自宅)金沢市松村7丁目36-13

金沢市役所〈創生かなざわ〉 TEL.076-220-2448 FAX.076-223-0116 金沢市広坂1-1-1





お電話・メール、事務所・市役所でも、市政に関し広く皆様の御意見を求めております。



皆様、こんにちは。金沢市議会議員のくまのもりおです。

日頃より、市政に関するご意見、相談等お寄せいただき誠にありがとうございます。 東京一極集中の是正と地方の人口増と活性化を目的とした、地方創生も5年目。 金沢市は、幸い人口減少はまだ始まっていませんが、労働人口減少が始まっています。 長い目で見て、税収の減少と社会保障費の増加は避けられません。 税金の効率的な使い方と、優先順位をどうしていくのか、 議論の場である議会の役割はますます大きくなっています。 二元代表制のチェック機能はもちろんのこと、 しっかりと意見していきたいと思っております。 さらなる皆様からのご意見、お待ち致しております。

金沢市議会議員能野盛夫

# 平成29年度金沢市議会 12月定例月議会

平成29年12月4日(月)~18日(月)

# 地元高校生の部活動時の新大徳川転落死亡事故について

金沢市の宝である子どもの命が失われたことは、私も含め、地元の多くの関係者に衝撃を与えました。 2度とこのような事故を起こさないために、質問させていただきました。質問を、ほぼ原文にて掲載いたします。

先月、地元県立高校の野球部員の生徒が部活動中にネットを越えて飛び込んだボールをとりに行った際、新大徳川に転落して死亡するという悲しい事故が起こりました、この事故に関する質問です。

まず、お亡くなりになられた高校生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。私も同世代の子を持つ親として、残された御家族の皆様には慰めの言葉もございません。彼の死を無駄にせず、二度とこのような痛ましい事故が起きないように、あらゆる側面から再発防止策について検討し、実行に移すことが行政の最重要な役割であるという観点から質問させていただきます。この事故に関して、たった一つのボールで命を落として

しまうなんてといういたたまれない気持ちの言葉を多くの人からお聞き しました。私自身、中学校、高校の途中まで野球部に所属し、夜遅くまで 白球を追いかけておりました。野球部の恩師、先輩、同輩、そして後輩か ら多くのことを学ばせていただいたことは言うまでもなく、感謝の気持 ちでいっぱいであります。中学生のころは、グラウンド横の田んぼに 入ったボールをスパイクを脱いで必死に捜した記憶がございます。たっ た一つのボールは、たった一つのボールです。けれども、このボールが なければ野球は成立しません。なかなか見つからないボールがやっと見 つかったとき、ともに捜しに行った部員同士の心にもきずなが生まれま す。また、グラウンド外のボールをとりに行くのは、大概が補欠選手で す。グラウンドの外であっても、ともにチームの目標のために頑張って いるという実感が得られます。また、全ての野球部員に、このボールー つを大切にする気持ち、それはボールから始まり、バット、グローブに 至るまで、道具全てに対する感謝の心があるからこそ、野球の試合、そ して野球そのものが成立すると思われます。けれども、命の重さからす れば、ボール一つのために何でと思われるのももっともな御意見であり ます。しかし、今回の事故の場合、もし野球部員がボールを拾わずにそ のままにしておけば、近隣の子どもたちが遊び心でボールをとろうとし て、さらに危険な目に遭う可能性も否定できません。そういった観点か ら、新大徳川の管轄は金沢市ではなく県央土木事務所ですが、縦割り行 政を超えて、今後の安全対策をしっかり議論しなければなりません。ま た、新大徳川は、土地区画整理に伴い整備された人工の河川であり、周 辺地域の住民の生活に根差した河川であります。カモの親子が訪れたり、 亀も生息していることから、子どもたちも流域に常に関心を持っている ことを忘れてはいけません。親水空間として、自然を感じ取ることので きる貴重な場所なのであります。私も事故後、改めて流域に行って状況 を確認しましたが、泳いでいるカモの親子と遭遇しました。河川自体は 勾配が非常に緩く、穏やかなイメージでありました。安全管理の面から 示された橋の上からボールをとるようにという指導も、これだけ流れが 遅いと、待っていることもできません。しかし、逆に、流れが遅い分、川 底にヘドロがたまっているおそれがあり、当然プールや海とは全く違う 水質であり、危険度は極めて高いと思われました。じっくり観察すれば するほど、河川の恐ろしい側面もうかがい知ることができます。2007年 にも、小学3年生の男子児童が溺れて死亡するという事故が発生してい

ます。また、これまで合わせて5人の金沢市民のとうとい命が落とされたと流域の住民から仄聞しております。直近の2007年の事故を受け、市としてどのような対策を県とともにとられたのでしょうか。まずお尋ねいたします。

市の河川において、ヘドロ対策として、しゅんせつはどのようなスパンで行われてきたのかもあわせてお尋ねいたします。

また、危機管理の観点から、情報を共有する必要があると思われます。 市内の各河川での過去の死亡事故等重大事故について、地域、近隣の学 校関係でもしっかりと情報共有することも、さきに示したハード対策と あわせて極めて重要なポイントになるかと思われますが、いかがお考え でしょうか。今後の対策とあわせてお答えください。

#### 〔市長の答弁〕

新大徳川の件について、まずは、親水空間以外の危険な河川の箇所に近づかないようにするということが大切であります。御存じのとおり、護岸の形状がまちまちであります。多くの河川について、転落した場合の安全対策を一律に講じるということは、現実的に困難であるというふうに思っています。市では、危険箇所に防護柵や注意喚起の看板を設置し、転落の未然防止に取り組んでいるところであり、今後とも、地域の方の御協力もいただきながら注意喚起に努めてまいります。情報共有についてですが、教育委員会や危機管理課など、関係部局と情報の共有を図るとともに、河川の危険箇所や過去の重大事故の事例について情報提供をしてきたところであります。引き続き、市民の河川に対する安全意識の一層の向上に努めてまいります

## 妊婦健診の補助拡充について (いしかわ若手議員の会での共通質問)

現在、14回目まで補助によって無償に受けることができる妊婦健診を14回目以降も補助するのが、 妊娠期から子育て期までの切れ目のない施策ではないのか。 翌年度より予算化決定!



## ごみ有料化について

この12月議会の質問が、有料化スタート前の最後の質問になりました。 市民の皆様、ごみの矢面に立つ町会長さんのご意見などを踏まえ質問いたしました。こちらもほぼ全文掲載させていただきます。

現在、金沢市は、西部、東部の両方の環境エネルギーセンターの焼却炉において発電、売電をしております。平成15年より毎年提出される中期財政計画では、財政の健全化のために基金の有効活用がうたわれております。さらに、売電収益については、当該委員会で基金化の要望が提出されたとお聞きしております。市民からも、この点に関して質問を多々受けております。本来は市民に還元すべき収益であるとの御意見もありますが、基金化せず、使途を明確にしないまま、一般会計の歳入としてきた理由についてまずお答えください。

中期財政計画では、今後5年間を予測した厳しい財政状況も毎年示され、行財政改革の徹底も求められております。特に今年度は、しばらく続いてきた市債残高の減少傾向から、一転して増加傾向が示されております。家庭ごみ有料化施策に対し、行政に対する市民の目線も厳しくなることから、一層の行財政改革が必要になると思われますが、いかがお考えでしょうか、お尋ねいたします。

次に、東部エネルギーセンター建設の計画についての質問です。さきの議会で、市長は、有料化の目標の14%削減が実現できれば、焼却炉の規模を40トンから50トン程度コンパクト化できるのではないかと答弁さ

れております。現在の西部の焼却炉は、1日当たりの処理能力が150トンのものが2基であります。新しく規模が縮小される東部エネルギーセンターの焼却炉の規模であっても、もし西部の焼却炉でトラブルが発生し稼働できなくなった場合、金沢市のごみの処理に問題が発生することはないのかお尋ねいたします。

次は、プラマークのついた容器の分別についての質問です。金沢市では、当初、分別の徹底を図る際に、汚れた容器もしっかり洗って資源として出してくださいと指導しておりました。市民の協力によって、結果として分別が進み、ごみ減量化・資源化率向上につながりました。しかし、新しくなった焼却炉の性能の向上に伴って、洗浄しにくいものは燃えるごみとして出しても構いませんという指導に変わりました。このたびの有料化に際して、お試し袋に入った分け方・出し方の冊子によると、これまでどおりの出し方が示されております。しかし、徹底した減量化を図るのであれば、徹底した洗浄をすべきではないかとの御意見もお聞きします。このような市民の御意見に対する見解をお聞かせください。

また、これまで一般会計で賄っていた紙資源の集団回収に対する奨励 金やアルミなどの資源でみの連合町会への奨励金に、でみ有料化の手数 料による地域コミュニティ活性化基金から上乗せすることが示されました。地域としては喜ばしいことではありますが、基金と一般会計の明確な線引きがなされず、仕組みとしてわかりにくいとの声もお聞きします。 新聞報道等でも、有料化の手数料の使途を明確にすべきとの意見も掲載されておりました。これらの意見に対するお考えをお聞かせください。

今日まで、各町会での説明会が順次行われてきました。中には同じ町会で3回も説明会を行ったところもあれば、町会長の判断で一回も説明会が行われなかったところもあったとお聞きしております。当局には、市民お一人お一人の日々の生活にかかわる大切な問題なだけに、積極的に説明に回ってほしかったと思います。また、今後も説明を求められるケースもあるかと思われますが、速やかな対応をお願いしたいと思います。そこで、質問に入りますが、実際に開催された説明会で出された意見や質問はどのようなもので、実際にどのように対応されてきたのでしょうか。また、いただいた御意見、質問等を受けて、実際に取り入れた点などもお答えください。

家庭ごみ有料化による手数料収入を地域コミュニティーに還元すると市長がおっしゃられたとき、町会加入率が70%を切ったデータをお示しになられました。これは大きな問題です。しかし、現実的に町会費が払えない高齢者世帯などで、町会が独自に減免措置をとられて町会員であることを存続しているというお話もお聞きしている現実もございます。そういった点も踏まえると、有料化ごみ袋の負担がさらにこたえて、町会を脱会する世帯の増加も懸念されます。そのようなことはあってはほしくない事態ではございますが、もし町会加入率がさらに低下する事態

になった場合の市の対応についてお聞かせください。

最後に、先月行われた市民意見交換会で出された意見についての質問です。市民が主催した意見交換会で出された意見は、市が説明会で配布しているA4の冊子について、昨年の金沢市のごみ量は減少したと報道されているのに、ごみ排出量が依然として減少しておらずと表記されているのはおかしい、訂正を求めますというものでした。市長のおっしゃられる丁寧な説明とはかけ離れた表記であると思われますが、その後の訂正があったのかをお聞きします。

また、公平性の確保といっても、家族が多いとごみはふえます。親2人は収入はあっても、子どもは収入がありません。高齢者で収入がない人もございます。高齢者や子どもは国の宝と言われますが、本当に公平性が保てるのでしょうかという御意見もございました。金沢市が進める単純従量制の有料化が本当に公平性の確保につながるのでしょうか。

#### [市長の答弁]

- ・売電収入は安定性がなく基金の財源にはなじまない
- ・引き続き計画的効率的行政改革に取り組んでいく
- ・家庭で容易にできる資源化を推進したい
- ・手数料使途は、基金として地域コミュニティーの充実、市民協働 の推進に充てたい
- ・丁寧な説明を続けていく
- ・単純従量制が最も公平性が担保されるものであるとの思いで取り 組む

### ◎12月議会のその他の質問

金沢マラソンの交通渋滞緩和策について/金沢マラソンの障害者の表彰枠について/金沢マラソンの車椅子参加ランナーの参加について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

# 平成29年度金沢市議会3月定例月議会

平成30年3月2日(金)~23日(金)

## 金沢市の危機管理について

金沢プールに続き、駅西福祉健康センターにおいても、子どもの事故が発生しました。当初は、かなりの重体とお聞きしました。再発防止のために、この質問をしました。

金沢市の施設での子どもの事故といえば、昨年度、オープン前の金沢プールの飛び込みトレーニング室における中学生の事故が痛ましく、まだ記憶に新しいところです。その際は、事故後、報告まで空白の4日間が存在し、いろいろな意味で市民に不安と動揺を与えました。今回は、前回の事故の教訓を生かし、いち早く報告がなされ情報共有されたことは、残念な状況ではあるにもかかわらず、大きな一歩ではないかと思われます。しかし、今定例月議会冒頭の市長の施政方針でも触れられましたが、専門家の意見を聞くのがプール事故と同じく後になってからというのは、根本的な安全管理意識の欠如ではないかと思われます。金沢プールの事故後、全庁的にどのような安全管理の対策を講じられたのか、また、なぜ今回それが生かされなかったのかお尋ねいたします。

しかし、私は、今回の事故に関し、行政側のみならず議会側にも大き な責任があると考えております。金沢プールしかり、駅西福祉健康セン ターしかり、オープン前、またはオープンに合わせ、金沢プールは全議 員が、また、駅西福祉健康センターは市民福祉常任委員が視察、もしく はセレモニーに参加し、施設の視察を行っているからです。その際、そ のような危険箇所等の指摘が議員から出されていれば、これらのような 事故も未然に防げたかもしれないと思うと、やり切れません。関係者の 一人としておわび申し上げて反省するとともに、金沢市の今後の新施設 や改修施設の安全管理に関する方針と対策をお聞きします。

#### [市長の答弁]

金沢プールの事故後、専門家による委員会から指導を受け、庁内幹部職員会議で適正管理について確認し合った。駅西センターの事故後も、全庁ですべての施設の緊急点検を実施した。安全確保は施設管理の基本で、改めて肝に銘じている。

#### ◎6月議会のその他の質問

中学校の演劇部の普及拡大について/宿泊税について/多文化共生社会について/大徳地区の第3小学校について

# 安原小学校の校舎等について



現場の確認の際、安原小学校の体育館の屋根の角のモルタル部分が落ちて、中のさびた鉄筋がむき出しになっておりました。まさに塩害とアルカリシリカ反応によるコンクリート構造の劣化だと推察されます。体育館の天井には、これまでも多くの雨漏りがあり、その都度修理はされているものの、天井全体は雨漏りの跡がそこらじゅうにあり、天井の棟

に沿った部分は薄黒くかびた状態になっていました。

安原小学校は、安原地区の海側環状道路の海側に位置する唯一の3階建ての避難場所に指定された建物です。学校の外壁には、地震・津波・洪水・土砂災害の避難場所と記されたプレートが張られています。危機管理の観点からも早急な対策が求められることと思われます。また、さきの金沢大学の鳥居教授のお話ではありませんが、思い切って長寿命化された体育館への建てかえも検討されてみてはいかがかと思われますが、御見解をお伺いいたします。

また、トイレの状況については、市教委による全市的な調査が現在行われていると仄聞いたしておりますが、安原小学校の今後の改修についてお聞かせください。

#### 〔教育長の答弁〕

初めに、体育館の点検作業や対策、また、建てかえについてでございますけれども、安原小学校だけではなく、小中学校の施設につきましては、これまでも学校からの要望等に基づきまして、必要に応じ緊急点検や修繕等を実施してきたところでありまして、今後とも迅速かつ適切に対処していくことといたしております。なお、体育館の改築につきましては、現時点では考えておりません。

次に、トイレの洋式化についても、校舎改修等の機会を捉えて順次 改善を図っているところであり、今後とも計画的に実施してまいり たい。

# 市営住宅の雪害対策と、県営住宅と市営住宅の管理一元化について

4月現在、金沢市内の16カ所の市営住宅には2,721世帯5,498人の市民の方が住まいされておられます。そして、市営住宅全体の高齢化率は34.4%です。この数字は金沢市内全域の高齢化率26.0%と比較し非常に高い傾向にあります。また、病気や何らかの事情で仕事ができない生活保護世帯の方も全体で9%の割合でおられます。さらに、平成28年3月に提出された高齢化等に対応した市営住宅のあり方検討会の報告書において、高齢単身世帯の増加は711世帯で全体の24%、若年入居世帯の減少は15%と10年間で半減した状況が示されています。地域的な事情は異なりますが、一般的なまちの状況と比較し、どうしても機動性が低くなり、地域活動の困難さが増していることは浮き彫りになっています。市営住宅にお住まいの町会長さんや民生委員さんからは、このままでは町会が成り立たない、若い世帯の入居をとにかく進めてほしいとの声が聞かれます。そんな中、30数年ぶりの大雪に見舞われました。各市営住宅の駐車場の管理運営組織が、除雪方法について意見共有できる場を、市営住宅課が主導してつくっては如何か。

また、高齢化等に対応した市営住宅のあり方検討会の報告書において、同一地区にある県営住宅と市営住宅の管理の一元化に向けた県との協議を進めることが書かれていますが、まさにこのような除雪に関する情報共有も県営・市営問わず有効な管理一元化の道しるべになるのではないでしょうか。現在の一元化についての進捗状況とあわせてお尋ねいたします。

#### [市長の答弁]

情報共有の場つくりは、各市営住宅の規模等の違いで難しいが、除雪活動のよい事例は、紹介していきたい。県営住宅は、指定管理者制度が導入され運営システムが市と異なっているなど、管理の一元化には幾つかの課題がある。ただ、今、熊野議員は除雪に関するということの御提言もいただいたんだというふうに思っています。仰せの件も含めまして、いま一度県とともに研究していきたい。

## ◎6月議会のその他の質問

架空請求はがきの被害防止策について/金沢市消防局が独自開発した11ヵ国語の救急搬送アプリについて/保育政策について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。